

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公表番号】特表2018-515510(P2018-515510A)
 【公表日】平成30年6月14日(2018.6.14)
 【年通号数】公開・登録公報2018-022
 【出願番号】特願2017-558467(P2017-558467)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2015.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 K 38/45 (2006.01)
 A 6 1 P 9/04 (2006.01)
 A 6 1 K 9/127 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 1 2 N 7/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/76
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 K 38/45
 A 6 1 P 9/04
 A 6 1 K 9/127
 C 1 2 N 15/00 A
 C 1 2 N 7/01

【手続補正書】
 【提出日】令和1年6月4日(2019.6.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0116
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0116】

本明細書において引用された全ての刊行物、特許、及び特許出願は、あたかも個々の刊行物、又は特許出願が参照により組み込まれることを、具体的かつ個々に示されたかのように、本明細書に参照により組み込まれる。前述の本発明が理解の明瞭化のために図と例とをあげていくらか詳細に記述したが、当業者には、本発明の教示を考慮して、添付の特許請求の範囲の精神、又は範囲から逸脱することなく、特定の変更、及び修飾をこれに対して行ってよいことが直ちに明らかであろう。

本件出願は、以下の構成の発明を提供する。

(構成1)

ヒト対象における進行した心不全を治療する方法であって、cMLCKタンパク質をコードしているポリヌクレオチドベクターの有効量を対象へ投与すること、対象の心臓細胞においてポリヌクレオチドベクターからcMLCKタンパク質を発現すること、及び心臓の心室機能を改善することを含む、方法。

(構成2)

前記対象が、NYHA III度心不全を有する、構成1記載の方法。

(構成3)

前記対象が、NYHA IV度心不全を有する、構成1記載の方法。

(構成4)

前記対象が、N-末端プロ脳性ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）の4000fmol/ml超の血漿レベルを有する、構成1記載の方法。

（構成5）

前記対象が、ニューレグリン治療に反応しない、構成1記載の方法。

（構成6）

前記cMLCKタンパク質が、配列番号:1を含むアミノ酸配列を有する、構成1記載の方法。

（構成7）

前記ポリヌクレオチドベクターが、対象へ局所投与される、構成1記載の方法。

（構成8）

前記AAVが、アデノ随伴ウイルスベクター9（AAV9）である、構成1記載の方法。

（構成9）

前記対象の左心室EF値が、少なくとも5%増強される、構成1記載の方法。

（構成10）

前記対象の左心拡張末期容積（LVEDV）又は左心収縮末期容積（LVESV）が、少なくとも5%減少される、構成1記載の方法。